



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月1日  
上場取引所 東

上場会社名 ダイترون株式会社  
コード番号 7609 URL <https://www.daitron.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土屋 伸介  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 専務執行役員 管理本部長 (氏名) 毛利 肇 TEL (06) 6399-5041  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日  
配当支払開始予定日 2024年9月6日  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	44,775	△2.4	2,660	△23.5	2,826	△20.1	1,884	△20.0
2023年12月期中間期	45,858	8.0	3,475	10.4	3,535	8.8	2,356	8.3

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 2,506百万円 (△12.8%) 2023年12月期中間期 2,876百万円 (17.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	169.71	—
2023年12月期中間期	212.24	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	70,371	31,194	44.3	2,806.92
2023年12月期	67,788	29,451	43.4	2,650.52

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 31,175百万円 2023年12月期 29,428百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2024年12月期	—	55.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	70.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,500	0.4	6,000	0.9	6,150	2.2	4,100	2.1	369.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	11,155,979株	2023年12月期	11,155,979株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	49,447株	2023年12月期	52,917株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	11,103,469株	2023年12月期中間期	11,100,710株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2024年8月6日（火）に機関投資家及びアナリスト向けに会場及びオンラインのハイブリッド型決算説明会を開催する予定です。

当日使用する決算説明資料に関しては、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書 .....	5
中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善に加えインバウンド需要の拡大等により、緩やかに回復しました。また、企業の生産活動は、資源や原材料価格の高止まりの影響を受けながらも堅調に推移しました。

世界経済につきましては、米国では雇用回復を背景として個人消費を中心に底堅く推移する一方、中国では不動産市場の低迷や個人消費の落ち込み等により厳しい状況が続きました。また、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化、資源や原材料価格の高止まりに加え、各国の金融引き締め等に伴う景気後退懸念により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの属しておりますエレクトロニクス業界につきましては、EVやAI、IoT分野に関連する設備投資の需要は中長期的には大きいものの、直近においては中国市場の低迷や在庫調整による需要の減少に伴い、電子部品や製造設備の生産活動は低調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、「第11次中期経営計画(2024年～2026年)」の基本方針に基づき、オリジナル製品の拡販や海外事業の拡大、新たな収益基盤となる新規ビジネスの創出に取組みました。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は44,775百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は2,660百万円(前年同期比23.5%減)、経常利益は2,826百万円(前年同期比20.1%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,884百万円(前年同期比20.0%減)となりました。

セグメントごとの概況は以下のとおりであります。

#### 国内販売事業

当セグメントにつきましては、製造装置では、半導体材料の生産向け「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」、通信用デバイスやLDプロジェクターの生産向け「電子部品製造装置」の販売が増加しました。電子機器及び部品では、「情報システム」のコミュニケーションシステムや「電源機器」の販売が増加しましたが、半導体製造設備や産業用機械の生産向け「電子部品&アセンブリ商品」のコネクタや「半導体」のアナログIC、「画像関連機器・部品」のカメラ・画像処理装置の販売が減少しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は33,322百万円(前年同期比5.7%減)となり、セグメント利益(営業利益)は2,021百万円(前年同期比23.9%減)となりました。

#### 国内製造事業

当セグメントにつきましては、電子機器及び部品を手掛ける部品事業部門では、特殊コネクタの販売が減少しました。製造装置を手掛ける装置事業部門では、通信用デバイス向け加工機や検査装置の販売が減少しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を下回りました。

この結果、セグメント間の内部売上高を含めた当セグメントの総売上高は5,252百万円(前年同期比5.1%減)となりました。外部顧客への売上高は1,735百万円(前年同期比6.6%減)となり、セグメント利益(営業利益)は218百万円(前年同期比58.9%減)となりました。

#### 海外事業

当セグメントにつきましては、製造装置では、前年同期に好調であった中国市場において設備投資が一段落し「半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置」、「電子部品製造装置」の販売が減少しましたが、電子機器及び部品では、米国市場で「電子部品&アセンブリ商品」、「画像関連機器・部品」、中国市場で「画像関連機器・部品」の販売が増加しました。これらの要因により、売上、利益共に前年同期の実績を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は9,716百万円(前年同期比12.3%増)となり、セグメント利益(営業利益)は497百万円(前年同期比50.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は62,444百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,339百万円の増加となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が1,664百万円減少したものの、現金及び預金が4,111百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円の増加となりました。これは主に投資その他の資産が266百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は70,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,582百万円の増加となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は35,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ755百万円の増加となりました。これは主に電子記録債務が2,572百万円減少したものの、契約負債が4,124百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円の増加となりました。

この結果、負債合計は39,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ839百万円の増加となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は31,194百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,742百万円の増加となりました。これは主に剰余金の配当により777百万円減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益により1,884百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.3%となり、前連結会計年度末との比較で0.9ポイントの上昇となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は、前連結会計年度末と比較して4,111百万円増加し、15,335百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は4,823百万円の増加(前年同期は1,846百万円の減少)となりました。主な増加要因は、税金等調整前中間純利益2,826百万円、売上債権及び契約資産の減少額1,718百万円、棚卸資産の減少額1,445百万円、契約負債の増加額4,067百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額2,783百万円、法人税等の支払額1,186百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は175百万円の減少(前年同期は353百万円の減少)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出110百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は807百万円の減少(前年同期は725百万円の減少)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額777百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月7日に公表いたしました「2024年12月期 決算短信」に記載の内容から大きく変更はありませんが、当中間連結会計期間の業績を踏まえ、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を修正いたしました。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の可能性が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,244,631	15,355,688
受取手形、売掛金及び契約資産	18,433,020	16,768,826
電子記録債権	9,966,149	9,871,484
商品及び製品	9,270,825	7,784,044
仕掛品	3,565,409	3,971,853
原材料	919,882	817,713
前渡金	6,541,790	7,472,360
その他	164,531	404,779
貸倒引当金	△1,801	△2,747
流動資産合計	60,104,440	62,444,003
固定資産		
有形固定資産	4,529,211	4,498,346
無形固定資産	426,791	433,847
投資その他の資産		
その他	2,738,353	3,004,871
貸倒引当金	△9,863	△9,753
投資その他の資産合計	2,728,489	2,995,118
固定資産合計	7,684,492	7,927,311
資産合計	67,788,932	70,371,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,360,989	9,292,002
電子記録債務	11,866,058	9,293,846
短期借入金	439,187	502,800
未払法人税等	1,156,026	970,588
賞与引当金	136,218	144,597
その他の引当金	44,156	57,658
契約負債	9,556,601	13,680,717
その他	2,091,259	1,463,627
流動負債合計	34,650,497	35,405,839
固定負債		
退職給付に係る負債	3,375,715	3,476,431
資産除去債務	51,690	52,115
その他	259,697	242,857
固定負債合計	3,687,103	3,771,404
負債合計	38,337,601	39,177,244
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,200,708	2,200,708
資本剰余金	2,575,877	2,585,554
利益剰余金	23,119,455	24,226,641
自己株式	△39,781	△37,176
株主資本合計	27,856,259	28,975,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	873,109	1,051,232
為替換算調整勘定	528,103	973,681
退職給付に係る調整累計額	171,463	174,468
その他の包括利益累計額合計	1,572,676	2,199,381
非支配株主持分	22,395	18,961
純資産合計	29,451,331	31,194,071
負債純資産合計	67,788,932	70,371,315

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
 (中間連結損益計算書)  
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	45,858,564	44,775,073
売上原価	36,542,195	36,074,277
売上総利益	9,316,368	8,700,796
販売費及び一般管理費	5,840,654	6,040,252
営業利益	3,475,713	2,660,543
営業外収益		
受取利息	2,666	3,214
受取配当金	19,177	17,106
仕入割引	9,175	1,130
補助金収入	25,759	455
為替差益	—	152,638
雑収入	27,643	14,090
営業外収益合計	84,421	188,636
営業外費用		
支払利息	16,665	18,224
手形売却損	438	2,555
為替差損	5,064	—
雑損失	1,985	2,008
営業外費用合計	24,152	22,787
経常利益	3,535,982	2,826,391
特別利益		
固定資産売却益	1,596	42
特別利益合計	1,596	42
特別損失		
固定資産除売却損	476	0
特別損失合計	476	0
税金等調整前中間純利益	3,537,102	2,826,434
法人税、住民税及び事業税	1,222,104	1,003,200
法人税等調整額	△57,843	△56,645
法人税等合計	1,164,260	946,554
中間純利益	2,372,841	1,879,880
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	16,785	△4,520
親会社株主に帰属する中間純利益	2,356,055	1,884,400

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	2,372,841	1,879,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269,430	178,122
繰延ヘッジ損益	9	—
為替換算調整勘定	218,246	445,577
退職給付に係る調整額	15,529	3,005
その他の包括利益合計	503,216	626,705
中間包括利益	2,876,057	2,506,585
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,858,414	2,510,019
非支配株主に係る中間包括利益	17,643	△3,434



(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	3,537,102	2,826,434
減価償却費	178,937	221,577
受取利息及び受取配当金	△21,843	△20,321
支払利息	16,665	18,224
固定資産除売却損益(△は益)	△1,119	△42
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△1,311,975	1,718,836
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,232,157	1,445,677
前渡金の増減額(△は増加)	△1,072,165	△926,688
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,905,488	△2,783,145
契約負債の増減額(△は減少)	1,231,757	4,067,640
引当金の増減額(△は減少)	14,977	13,708
その他	△58,006	△574,229
小計	△623,316	6,007,671
利息及び配当金の受取額	21,843	20,321
利息の支払額	△10,592	△18,388
法人税等の支払額	△1,234,906	△1,186,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,846,972	4,823,591
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△284,554	△110,748
有形固定資産の売却による収入	2,574	109
投資有価証券の取得による支出	△12,501	△12,789
その他	△58,694	△51,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,175	△175,329
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	69,065	8,716
配当金の支払額	△777,021	△777,408
その他	△17,758	△38,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△725,714	△807,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	199,565	270,017
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,726,298	4,111,057
現金及び現金同等物の期首残高	12,882,996	11,224,631
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,156,698	15,335,688

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	30,456,433	1,840,844	3,632,432	35,929,711	—	35,929,711
製造装置	4,889,743	18,221	5,020,887	9,928,852	—	9,928,852
顧客との契約から生 じる収益	35,346,176	1,859,066	8,653,320	45,858,564	—	45,858,564
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	35,346,176	1,859,066	8,653,320	45,858,564	—	45,858,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,423,853	3,678,096	142,121	5,244,071	△5,244,071	—
計	36,770,030	5,537,162	8,795,441	51,102,635	△5,244,071	45,858,564
セグメント利益	2,657,320	533,200	331,346	3,521,866	△46,152	3,475,713

(注) 1. セグメント利益の調整額△46,152千円には、セグメント間取引消去△1,709千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44,443千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内販売事業	国内製造事業	海外事業	計		
売上高						
電子機器及び部品	26,836,138	1,723,650	5,522,812	34,082,602	—	34,082,602
製造装置	6,486,274	12,066	4,194,130	10,692,471	—	10,692,471
顧客との契約から生 じる収益	33,322,412	1,735,717	9,716,943	44,775,073	—	44,775,073
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	33,322,412	1,735,717	9,716,943	44,775,073	—	44,775,073
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,279,031	3,516,296	122,859	4,918,187	△4,918,187	—
計	34,601,444	5,252,013	9,839,803	49,693,261	△4,918,187	44,775,073
セグメント利益	2,021,244	218,915	497,265	2,737,425	△76,881	2,660,543

(注) 1. セグメント利益の調整額△76,881千円には、セグメント間取引消去△7,566千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,315千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。